



SINRAI PROJECT JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト ニュースター第 17 号 2017 年 11 月



★SINRAI PROJECT★DPUB PROJECT★CORRABORATION NO★KATSUDOU WO ★HAJIME MASHITA★

主な内容（次項）

ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクトと合同で、バガノール区医療・社会保険事務所の視察を行いました。

JICA が実施している「ウランバートル市における障害者の社会参加促進（DPUB）プロジェクト」と合同で、バガノール区医療・社会保険事務所を訪問し、車いす協会の皆さまと同事務所のアクセシ



アクセシビリティチェックの様子

ビリティチェックを行いました。バガノール区医療・社会保険事務所は、本プロジェクトにおいて業務改善実施モデル事務所として選ばれており、率先して業務の効率化やお客様へのサービス向上に取り組み、全国の医療・社会保険事務所をリードしていく役割を担っています。医療・社会保険事務所は障害者の方や高齢の方々がよく訪れる場所であり、そのため、どのような視点で事務所や業務を改善・整備していけば良いかにつき、同事務所所長を含む職員を交えて議論をしました。車いす協会のチョロンドルゴルさんから

所長との意見交換の様子



意見を聞く事務所職員

の「障害者に配慮して整備された施設であれば、誰にとっても使いやすい」というアドバイスは、同事務所の職員のみならず私たちの心に残り、周辺のバガノール区総合病院や療養所を訪れた際にも、合言葉のように口にしながら、障害者の方の視点で施設の改善案について関係者と話し合いました。私たちの訪問を受け入れてくださった皆さまに、深く感謝申し上げます。



意見を聞く事務所職員

11 月、日本での研修を実施。

11 月 12 日～25 日の日程で、日本での研修の実施を予定しています。今回は東京で厚生労働省や日本年金機構の訪問のほか、四国の高松市における年金事務所や事務センターを訪問し、実務を学びます。また、福岡では日本の健康保険がどのように使われているのかにつき、関係機関や病院の訪問を通して学びます。



連載「草原の国の社会保障」

今回の記事は、「日本で病気になった場合②」です。（写真：モンゴルにおける社会保険制度 75 周年記念時に長官へ挨拶をするプロジェクトメンバー）



医療・社会保険事務所のお客様満足度調査を実施

10 月は、ウランバートル市の 4 事務所においてお客様満足度調査を実施しました。（写真：UB 市内の医療・社会保険事務所で行った調査を実施している様子）

草原の国の社会保障（第 16 話） 「日本で病気になった場合②」

皆さま、こんにちは。

前号に続いて、日本で病気になった場合について、お伝えします。

病気になった場合、必ず「保険証」を持って医療機関を受診してください。お子様が病気になった場合は、そのお子様の「保険証」が必要になります。医療機関側から見ると「保険証」を持っているかどうかがとても重要になります。保険証を持っているのであれば、その患者は「支払い能力がある」とみなされるからです。突然のケガで医療機関を受診すること考えると、保険証は肌身離さず持っておくといいたいと思いますよ。なお、保険証を持っていない場合であっても、医療機関から受診拒否されることはありません。また、保険証がないからといって治療に差があるわけではありません。唯一の違いは、治療費の額です。

さて、診療所や病院に行くと、まずは受付で保険証を提示してもらうことになります。保険証がない場合は、その旨、説明してください。受付では、来院の理由について聞かれますので、症状を述べてください。その医療機関を初めて受診する場合は、問診票が渡され、お名前や年齢、性別の他、既往症について記入する必要があります。女性の場合は、妊娠の有無も伝えてください。医師の診断にとって大事な情報ですので、正しく記入してくださいね。また、体温計が渡される場合もあります。待合室で測ってもらい、終わって体温計を受付に戻す際、体温を伝えていただきます。

大きな病院でなければ、待ち時間はそれほど長くありません。最寄りの診療所であれば、長くても 30 分程度でしょう。基本的には受付した順番で呼ばれますが、重い症状の患者を優先する場合がありますので、ご理解ください。

チーフアドバイザー 山下 護

JICA が発行している広報誌 「mundi」の取材を受けました。



JICA の月間広報誌「mundi」の記者がモンゴルを訪問し、SINRAI プロジェクトの取材を行いました。



医療・社会保険庁のサラシ副長官へのインタビューやウィークリーミーティングの取材の他、取材先すべてにプロジェクトも同行し、活動を説明しました。バヤンソルフ区医療・社会保険事務所の

訪問では、記者から、SINRAI プロジェクトとどのように協力を進め、業務改善や能力向上に取り組んでいるかなどにつき、質問がありました。また、トゥブ県ボルノール・ソムを訪れ、ソムのインスペクターの日々の業務について取材したり（写真↑）、年金保険に加入している遊牧民の方々と年金保険の意義について意見交換を行ったりしました。（写真↓）



取材最終日には、労働・社会保障省ムンフソル局長へのインタビューも実施しました。なお、本取材の記事は、「mundi」12 月号に掲載される予定です。

※mundi とは、ラテン語で「世界」という意味。

医療・社会保険事務所のお客様満足度調査を実施しました。

10 月 31 日～11 月 2 日、ウランバートル市の 4 か所の医療・社会保険事務所、お客様満足度（CS）調査を実施しました。来訪されたお客様の満足度や意見・要望を把握

し、お客様サービスの観点からの社会保険実務の改善



案を作成するなど一層のサービスの向上を図ること、また、医療・社会保険事務所の職員を対象として職員満足度（ES）を把握することにより、職場における連携・情報共有を強化し、今後の業務改善につなげることを目的としています。



昨年引き続き、モンゴル国立大学の学生さんに調査およびその後の集計作業をお手伝いいただきました。おかげでたくさんの調査票を回収できましたこと、改めて感謝を申し上げます。なお、今回の調査は以下のウランバートル市内の 4 か所の医療・社会保険事務所で開催しました。

○モデル医療・社会保険事務所（2 か所）

- ・バヤンソルフ区医療・社会保険事務所
- ・バガノール区医療・社会保険事務所

○その他の医療・社会保険事務所（2 か所）

- ・チンゲルテイ区医療・社会保険事務所
- ・ナライハ区医療・社会保険事務所

（広報関連）モンゴルの日刊紙 Zuunii Medee 紙には毎週水曜日、山下チーフアドバイザーによる社会保障をテーマとした様々な内容の記事が掲載されています。是非、注目してみてください！

SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル医療・社会保険庁内 6階 602 号室 電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл
ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/O14/newsletter/index.html>

